

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和06年12月20日

計画の名称	能代市の防災・減災・安全な市街地の実現（第4期）												
計画の期間	令和07年度～令和11年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	能代市												
計画の目標	市民の良好な生活環境を確保するため、下水道施設の計画的かつ効率的な管理を実施することにより施設の長寿命化を図る。 ストックマネジメント計画に基づいた事業を推進し、安全・安心な住環境を実現するとともに良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,075	A	1,075	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7当初		R11末
1	管路施設の老朽化に起因した道路陥没による市民生活への影響を回避するため、管渠の改築率を0%（R7）から66%（R11）に増加させる。 合流区域におけるストックマネジメント計画に基づく改築率 改築を実施した管渠延長（km） / 改築を実施する必要がある管渠延長（3.6km）	0%	%	66%
2	老朽化等に起因する機能停止を未然に防止するため、マンホールポンプの改良実施率を0%（R7）から25%（R11）に向上させる。 マンホールポンプの対策率 対策を実施したマンホールポンプ数 / マンホールポンプ数（32基）	0%	%	25%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												R07	R08	R09	R10	R11					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	能代市	直接	能代市	管渠(合流)	改築	合流区域管渠ストックマネジメント	合流管(250~1,500mm)の改築、長寿命化	能代市						730		策定済		
	A07-002	下水道	一般	能代市	直接	能代市	管渠(合流)	改築	水管橋ストックマネジメント	水管橋の改築、長寿命化	能代市							75		策定済	
	A07-003	下水道	一般	能代市	直接	能代市	管渠(汚水)	改築	マンホールポンプストックマネジメント	マンホールポンプの改築、長寿命化	能代市							125		策定済	
	A07-004	下水道	一般	能代市	直接	能代市	ポンプ場	改築	中継ポンプ場耐水化	中継ポンプ場の耐水化	能代市							100		-	
	A07-005	下水道	一般	能代市	直接	能代市	-	新設	雨水出水浸水想定区域図作成	雨水出水浸水想定区域図作成	能代市							25		-	
	A07-006	下水道	一般	能代市	直接	能代市	終末処理場	改築	処理場・ポンプ場ストックマネジメント	ストックマネジメント計画策定	能代市							20		策定済	
												小計							1,075		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	45,000				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	45,000				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	28,800				
翌年度繰越額 (f)	16,200				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 能代市の防災・減災・安全な市街地の実現（第4期）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 計画の目標が上位計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 2) 地域の課題を踏まえた目標等が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものになっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
III. 計画の実現可能性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 3) 関連する機関との調整が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) 事業に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 継続的な事業の展開が見込まれる。	○

